

金沢大学法務研究科
2014年度「法理学」小テスト
6月4日1限実施/試験時間：45分/出題：足立英彦
解答・解説

1. 次の語句をそれぞれ説明せよ。(各2点)

(a) 場合 (case)

解答 原子式の真理値の組み合わせ。

(b) 矛盾式

解答 どのような場合でも(原子式の真理値の組み合わせにかかわらず)常に偽となる式。

2. 次の推論は論理的に正しい(妥当)か。真理表を用いつつ説明せよ。(3点)

$$A \rightarrow B \models \neg B \rightarrow \neg(A \wedge C)$$

解答

A	B	C	$A \rightarrow B$	$\neg B$	$A \wedge C$	$\neg(A \wedge C)$	$\neg B \rightarrow \neg(A \wedge C)$
1	1	1	1	0	1	0	1
1	1	0	1	0	0	1	1
1	0	1	0	1	1	0	0
1	0	0	0	1	0	1	1
0	1	1	1	0	0	1	1
0	1	0	1	0	0	1	1
0	0	1	1	1	0	1	1
0	0	0	1	1	0	1	1

この推論において、前提 ($A \rightarrow B$) が真の場合は1, 2, 5, 6, 7, 8行目であり、そのあらゆる場合に結論 ($\neg B \rightarrow \neg(A \wedge C)$) は真となっている。したがって、この推論は論理的に正しい。

解説 1, 2, 5, 6, 7, 8行目で結論が偽となっている行(場合)がない、すなわち反例がないことを指摘してもよいし、 $(A \rightarrow B) \rightarrow (\neg B \rightarrow \neg(A \wedge C))$ がトートロジーとなることを示してもよい。

3. 次の文を論理式に書き換え、ベン図でも表現せよ。ただし、次の解釈を用いること。

Jx 「x は日本人である」 Sx 「x は寿司が好きだ」(各2点)

(a) 寿司が好きな人がいる。

解答 $\exists x Sx$ (ベン図省略)

解説 論理式とベン図にそれぞれ1点配点した。

(b) 日本人は寿司が好きだ。

解答 $\forall x(Jx \rightarrow Sx)$

(c) 日本人は寿司が嫌いだ (好きでない)。

解答 $\forall x(Jx \rightarrow \neg Sx)$

(d) 寿司の好きな日本人がいる。

解答 $\exists x(Jx \wedge Sx)$

4. $OV \vdash PV$ という推論 (ただし, V は, 「ある人 (たとえば a さん) がある行為 (たとえば税金を払う) をする」という命題であるとする) が論理的に正しいことを、「理想世界」という語を用いて説明しなさい。その際、どのようなことを仮定しなければならないかについても言及すること。(4 点)

解答 「現実世界において OV が真である」ということは、「現実世界にとってのすべての理想世界において V が真である」ということと同じである。ただし両者は、現実世界にとっての理想世界の存在を含意しない。したがって、現実世界において OV が真であり、さらに、現実世界にとっての理想世界が少なくとも一つは存在する (すなわち、現実世界は最善の世界ではない) ことを仮定するならば、 V が真であるような理想世界が少なくとも一つ存在する。これはすなわち「現実世界において PV は真である」ということと同じである。このように、理想世界の存在を仮定するなら、「現実世界において OV が真」である場合には「現実世界において PV は真」である、すなわち、現実世界における「 OV ゆえに PV 」という推論は論理的に正しい。

解説 OV や PV が真であることを「理想世界」という語を使って言い換えることができれば 3 点、理想世界の存在仮定に 1 点。

5. 「a は b に対して G を行うことを禁じられている」という命題 N と以下のそれぞれの命題の関係の名称と、 N が真である場合のそれぞれの命題の真理値を書きなさい。(各 2 点)

(a) N_1 「a は b に対して、G を行うことを命じられている。」

解答 $N(Oab \neg G)$ と $N_1(OabG)$ は「反対」の関係にあり、 N が真の場合、 N_1 は偽である。

解説 この問 5 は、2013 年度法務研小テスト 4、同年法学類小テスト 4 と類似の問題である。関係の名称に 1 点、真理値に 1 点配点した。

(b) N_2 「a は b に対して、G を行うことを許されている。」

解答 N と $N_2(\neg Oab \neg G)$ は「矛盾 (否定)」の関係にあり、 N が真の場合、 N_2 は偽である。

(c) N_3 「a は b に対して、G を行うことについて自由である。」

解答 N と $N_3(\neg OabG \wedge \neg Oab \neg G)$ は「反対」の関係にあり、 N が真の場合、 N_3 は偽である。

(d) N_4 「b は a に対して、G を行うことを求める権利を有していない。」

解答 N は N_4 を「含意」するので、 N が真の場合、 N_4 は真である。

解説 $N_4(\neg RbaG)$ と「a は b に対して G を行うことを命じられていない」($\neg OabG$)

は論理的に同値である。問の命題 $N(Oab \neg G)$ は $\neg OabG$ を含意する。したがって、 N が真なら $\neg OabG$ は真であり、 $N_4(\neg RbaG)$ も真である。

6. 国民の「移動（移転）の自由権」が憲法で保障されている場合、国はどのような地位にあるかを文で書きなさい。（3点）

解答 国家はすべての国民に対して、移動をすること及び移動をしないことを求める権利を有さず、並びに、移動をすること及び移動をしないことを妨害しないことを命じられている、という地位にある。

解説 「並びに」の前後のどちらかが書けていれば2点。

7. 講義に対するご意見、ご感想、改善提案等を、答案用紙に記入してください。（任意）

回答 ご批判や改善提案等はありませんでしたが、引き続き、よりよい講義となるよう努力します。

参考情報（6月10日現在）

履修登録数	受験者数	平均点
8	8	21.0

* 26点1名。